

令和2年3月31日

京都労働局  
職業安定部 訓練室 御中

平成31年度  
訓練受講希望者等に対するジョブ・カード作成支援推進事業  
アンケート調査報告書

オムロン エキスパートリンク株式会社

## 【アンケート調査報告】

この度は「訓練受講希望者等に対するジョブ・カード作成支援推進事業」への参画の機会をいただき、誠にありがとうございます。

本委託事業の一つの柱である「ジョブ・カード活用効果分析業務」に関し、平成31年度(平成31年4月～令和2年3月)の集計および分析結果をご報告申し上げます。

次項以降にアンケート集計表と設問ごとの結果グラフ、分析報告を記載させていただいておりますので、よろしく願い申し上げます。

- 調査目的 : ジョブ・カード作成支援後に、「訓練受講前のキャリアコンサルティングに関するアンケート」を配布して、相談者本人の主観による意識変化、満足度等を把握する
- 集計期間 : 平成31年4月1日～令和2年3月19日
- 実施対象 : 訓練受講希望者等に対するジョブ・カード作成支援キャリアコンサルティングにおいてジョブ・カード作成支援が完了した相談者を対象に実施
- 調査方法 : キャリアコンサルティング終了後、所定のアンケート用紙を手交しアンケート協力を要請。無記名にて記入いただき、その場で担当キャリアコンサルタントが回収し、毎月末に集計  
※アンケートの一部項目は毎月の補足報告書においてご報告致しております。

### ■ 回収者内訳

箇所名	烏丸御池	京都七条	JPHWC	伏見	福知山	園部	舞鶴	綾部	峰山	合計
回収数	上半期	350	307	161	253	1	2	0	0	1,074
	下半期	377	321	134	172	4	0	2	3	1,017
	年間計	727	628	295	425	5	2	2	3	2,091
占有率	34.8%	30.0%	14.1%	20.3%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	100.0%

事業開始当初4月の回収率が80%強となりましたが、次月以降はほぼ100%の方にアンケートにご協力頂き回収することができました。その結果、合計2,091名の相談者よりアンケートを回収し、そのご意見感想を今回の報告書に反映することが出来たものと考えます。回収者の箇所別内訳は上記のとおりで烏丸御池、次いで七条、伏見、京都ジョブパークの順となりました。下半期は専門実践教育訓練を中心とした巡回ハローワークでの相談も上半期に比べ増加しました。

上半期アンケート集計(H31. 4～R1. 9月分)

京都労働局

(単位:人)

質問内容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計		
性別	① 男性	44	70	47	47	68	54	330人		
	② 女性	138	143	119	126	100	118	744人		
年齢	① 10代	0	5	0	1	1	2	9人		
	② 20代	49	61	35	36	32	41	254人		
	③ 30代	42	45	43	55	57	44	286人		
	④ 40代	57	57	52	49	43	49	307人		
	⑤ 50代	25	31	22	24	25	29	156人		
	⑥ 60代以上	8	14	14	8	10	7	61人		
問1	(1) 訓練内容	① 専門実践	13	9	14	10	15	19	80人	
		② 一般教育	0	0	0	0	0	0	0人	
		③ 雇用型	0	0	0	0	0	0	0人	
		④ デュアル	4	5	1	1	1	3	15人	
		⑤ 長期高度	12	0	0	0	1	0	13人	
		⑥ 公共長期以外	116	153	123	128	133	114	767人	
		⑦ 求職者支援	35	46	26	31	17	35	190人	
		⑧ その他	2	0	2	3	0	1	8人	
	(2) 相談回数	① 1回	175	209	158	169	162	166	1039人	
		② 2回	7	3	7	4	5	6	32人	
		③ 3回以上	0	1	0	0	1	0	2人	
	問2	(1) HW タイミング	① 適切	154	192	154	162	157	157	976人
			② もっと早く	14	14	9	10	9	12	68人
			③ どちらとも言えない	14	7	3	1	2	3	30人
(2) HW 説明		① 説明十分	162	187	149	154	153	155	960人	
		② 説明不足	11	17	9	9	5	9	60人	
		③ 説明無し	8	9	8	10	10	8	53人	
問3	(1) サービスの内容	① 役に立った	171	201	161	166	161	170	1030人	
		② まあまあ役に立った	8	11	5	6	7	2	39人	
		③ あまり役に立たなかった	2	1	0	0	0	0	3人	
		④ 役に立たなかった	1	0	0	0	0	0	1人	
	(2) 役に立った点	① 訓練受講の目的が明確になった	51	65	59	49	58	53	335人	
		② キャリア形成の方向性を整理できた	99	109	82	103	87	99	579人	
		③ 訓練受講に対する意欲が向上	20	31	21	19	22	14	127人	
		④ その他(※別紙参照)	9	5	4	2	1	6	27人	
	(3) 意義	① 報酬により自分の考えが整理できた	72	86	70	61	62	57	408人	
		② 就業に関する目標・希望を明確化できた	62	76	65	64	62	75	404人	
		③ 中長期的なキャリアを考えるきっかけ	20	27	15	25	29	22	138人	
		④ 能力開発の必要性を再認識	22	19	12	16	14	14	97人	
		⑤ 特に意義を感じなかった	3	2	2	3	0	2	12人	
		⑥ その他(※別紙参照)	1	3	2	4	1	2	13人	
	(4) 自由(※別紙参照)	57	66	46	49	53	59	330人		
	問4	(1) 役に立たなかった理由	① 有益な情報が得られなかった	1	0	0	0	0	0	1人
			② 希望する職種に関する知識がなかった	0	0	0	0	0	0	0人
			③ 有益な助言がなかった	0	0	0	0	0	0	0人
④ その他(※別紙参照)			1	1	0	0	0	0	2人	
(2) 自由(※別紙参照)		0	0	0	0	0	0	0人		
アンケート回収人数		182	213	166	173	168	172	1074人		
JC作成支援件数		219	214	173	174	169	172	1121人		
アンケート回収率		83.1%	99.5%	96.0%	99.4%	99.4%	100.0%	95.8%		

下半期アンケート集計(H31. 10~R2. 3月分)

京都労働局

※3月は3/1~3/19分

(単位:人)

質問内容		10月	11月	12月	R2.1月	2月	※3月	合計		
性別	① 男性	62	53	50	60	91	66	382人		
	② 女性	134	100	91	125	142	91	683人		
年齢	① 10代	1	1	5	1	5	2	15人		
	② 20代	55	33	27	37	62	39	253人		
	③ 30代	44	35	42	60	55	31	267人		
	④ 40代	49	43	32	56	58	39	277人		
	⑤ 50代	36	30	27	25	40	33	191人		
	⑥ 60代以上	11	11	8	6	13	13	62人		
問1	(1) 訓練内容	① 専門実践	35	43	50	81	110	62	381人	
		② 一般教育	1	0	1	3	1	4	10人	
		③ 雇用型	0	0	0	0	0	0	0人	
		④ デュアル	6	2	1	3	3	1	16人	
		⑤ 長期高度	1	1	0	2	33	14	51人	
		⑥ 公共長期以外	139	89	69	80	77	62	516人	
		⑦ 求職者支援	14	16	20	16	7	12	85人	
		⑧ その他	0	2	0	0	2	2	6人	
	(2) 相談回数	① 1回	194	151	139	185	230	154	1053人	
		② 2回	2	2	1	0	3	3	11人	
		③ 3回以上	0	0	1	0	0	0	1人	
	問2	(1) HW タイミング	① 適切	185	143	132	176	216	150	1002人
			② もっと早く	7	7	7	4	8	3	36人
			③ どちらとも言えない	4	3	2	5	9	4	27人
(2) HW 説明		① 説明十分	176	136	129	163	209	139	952人	
		② 説明不足	9	8	6	5	8	7	43人	
		③ 説明無し	11	9	6	17	16	11	70人	
問3	(1) サービスの内容	① 役に立った	185	144	134	176	223	149	1011人	
		② まあまあ役に立った	11	9	6	9	9	7	51人	
		③ あまり役に立たなかった	0	0	1	0	1	1	3人	
		④ 役に立たなかった	0	0	0	0	0	0	0人	
	(2) 役に立った点	① 訓練受講の目的が明確になった	69	39	40	66	77	45	336人	
		② キャリア形成の方向性を整理できた	107	91	81	91	104	83	557人	
		③ 訓練受講に対する意欲が向上	13	15	19	28	43	25	143人	
		④ その他(※別紙参照)	7	8	1	0	8	3	27人	
	(3) 意義	① 報酬により自分の考えが整理できた	77	63	52	80	105	61	438人	
		② 就業に関する目標・希望を明確化できた	69	47	49	62	80	56	363人	
		③ 中長期的なキャリアを考えるきっかけ	27	28	20	22	31	21	149人	
		④ 能力開発の必要性を再認識	20	9	18	14	15	17	93人	
		⑤ 特に意義を感じなかった	3	5	1	5	1	0	15人	
		⑥ その他(※別紙参照)	0	1	0	2	0	1	4人	
(4)	自由(※別紙参照)	41	47	25	54	57		224人		
問4	(1) 役に立たなかった理由	① 有益な情報が得られなかった	0	0	1	0	0	1	2人	
		② 希望する職種に関する知識がなかった	0	0	0	0	0	0	0人	
		③ 有益な助言がなかった	0	0	0	0	1	0	1人	
		④ その他(※別紙参照)	0	0	0	0	0	0	0人	
	(2)	自由(※別紙参照)	0	0	0	0	0	0	0人	
	アンケート回収人数		196	153	141	185	233	157	1065人	
JC作成支援件数		197	154	143	186	238	224	1142人		
アンケート回収率		99.5%	99.4%	98.6%	99.5%	97.9%	70.1%	93.3%		

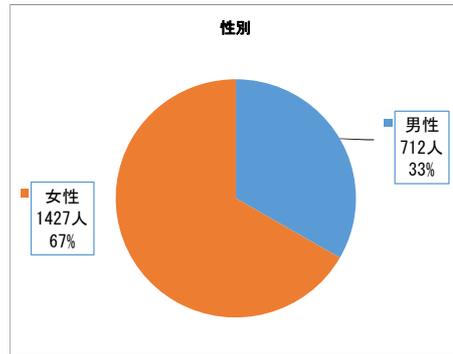
年間アンケート集計(H31. 4～R32. 3月分)

京都労働局

(単位:人)

質問内容		上半期	下半期	合計		
性別	① 男性	330	382	712人		
	② 女性	744	683	1427人		
年齢	① 10代	9	15	24人		
	② 20代	254	253	507人		
	③ 30代	286	267	553人		
	④ 40代	307	277	584人		
	⑤ 50代	156	191	347人		
	⑥ 60代以上	61	62	123人		
問1	(1) 訓練内容	① 専門実践	80	381	461人	
		② 一般教育	0	10	10人	
		③ 雇成型	0	0	0人	
		④ デュアル	15	16	31人	
		⑤ 長期高度	13	51	64人	
		⑥ 公共長期以外	767	516	1283人	
		⑦ 求職者支援	190	85	275人	
		⑧ その他	8	6	14人	
	(2) 相談回数	① 1回	1039	1053	2092人	
		② 2回	32	11	43人	
		③ 3回以上	2	1	3人	
	問2	(1) HW タイミング	① 適切	976	1002	1978人
			② もっと早く	68	36	104人
			③ どちらとも言えない	30	27	57人
(2) HW 説明		① 説明十分	960	952	1912人	
		② 説明不足	60	43	103人	
		③ 説明無し	53	70	123人	
問3	(1) サービスの内容	① 役に立った	1030	1011	2041人	
		② まあまあ役に立った	39	51	90人	
		③ あまり役に立たなかった	3	3	6人	
		④ 役に立たなかった	1	0	1人	
	(2) 役に立った点	① 訓練受講の目的が明確になった	335人	336	671人	
		② キャリア形成の方向性を整理できた	579人	557	1136人	
		③ 訓練受講に対する意欲が向上	127人	143	270人	
		④ その他(※別紙参照)	27人	27	54人	
	(3) 意義	① 棚卸しにより自分の考えが整理できた	408人	438	846人	
		② 就業に関する目標・希望を明確化できた	404人	363	767人	
		③ 中長期的なキャリアを考えるきっかけ	138人	149	287人	
		④ 能力開発の必要性を再認識	97人	93	190人	
		⑤ 特に意義を感じなかった	12人	15	27人	
		⑥ その他(※別紙参照)	13人	4	17人	
(4)	自由(※別紙参照)	330	224	554人		
問4	(1) 役に立たなかった理由	① 有益な情報が得られなかった	1人	2	3人	
		② 希望する職種に関する知識がなかった	0人	0	人	
		③ 有益な助言がなかった	0人	1	1人	
		④ その他(※別紙参照)	2人	0	2人	
	(2)	自由(※別紙参照)	0	0	人	
	アンケート回収人数		1074人	1065	2139人	
のべ相談人数		1121人	1142	2263人		
アンケート回収率		95.8%	93.3%	94.5%		

## 性別

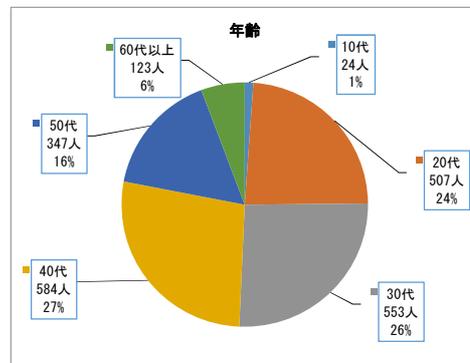


男女比はおよそ7:3となりました。女性が約7割を占めるのは、訓練志向が女性のほうが高いためと思われます。

相談記録から特徴的なことは、専業主婦が長く、就業のブランクがあり、子育てに一段落した機会に再度活躍したいとの思いから職業訓練を希望されるケースが多く見られます。

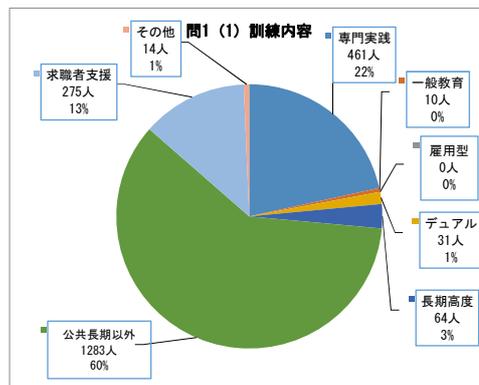
男女とも非正規雇用から正規雇用を目指したり、転職を繰り返す方が、定着し長く働ける事を目標とされているケースもみられます。

## 年齢



年齢の中心は30代～40代で合わせて50%を超え、次いで20代と50代が続きます。60代以上も6%と比率は少ないものの一定数あり、特徴的なことは定年を迎えた男性が再雇用を目指すために、訓練受講を希望する動きが顕著となっています。

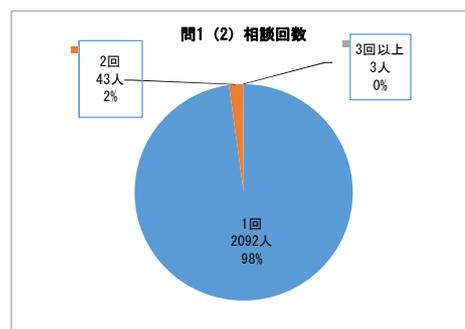
## 問1(1) 希望する訓練の内容は



上半期は公共訓練(長期高度人材育成コースを除く)が70%強を占め、次いで求職者支援訓練18%と続きジョブ・カード作成必須訓練である専門実践教育訓練、デュアル(企業実習付き訓練)が続きました。

下半期は専門実践教育訓練の増加に伴い公共訓練は年間では60%に減少し、専門実践教育訓練が22%、長期高度人材育成コースが0%から3%に増加したのが特徴的です。

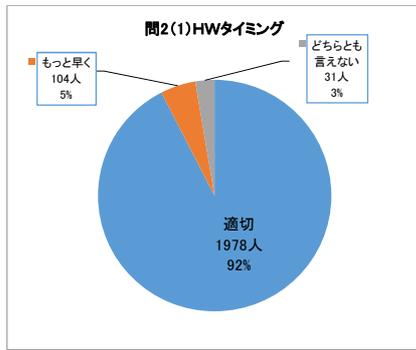
## 問1(2) 本サービスにおける相談終了までの回数



98%の方が、1回でジョブ・カード作成完了となっています。次いで2回の方が2%となりました。3回以上と長期化するケースは3名でした。相談記録から面談前の準備状況(ジョブ・カード各項目作成記入率)により面談回数が左右されることが多くないと判断されます。

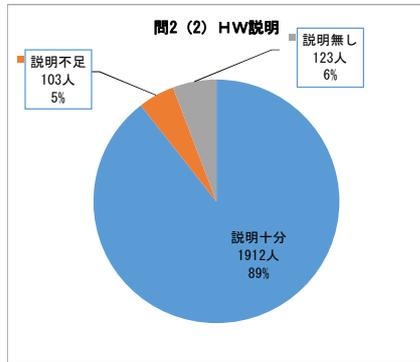
上半期より若干下半期は1回での完了率が上昇しましたが、専門実践教育訓練受講者の増加によるものと考えます。

### 問2(1) 本サービスの利用を促すタイミングは適切でしたか



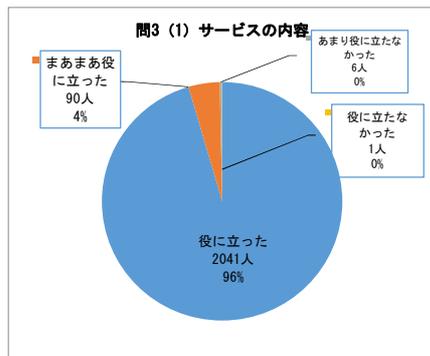
誘導のタイミングでは約9割の方が適切とされており、特に問題なくキャリアコンサルティングに結びついたものと思います。

### 問2(2) 民間事業者の行うサービスであることなどの説明



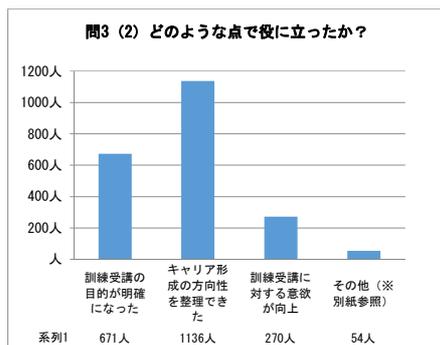
約9割弱の方が説明十分と回答されていますが、一方説明不足、説明なしとの回答も1割強存在しますが、弊社への電話予約誘導の際や、ハローワーク窓口で直接誘導いただく場合にも、必ず案内頂いており相談者による認識の違いではないかと考えられます。上半期より下半期は改善されたものと判断します。

### 問3(1) キャリアコンサルタントの支援は役に立ちましたか



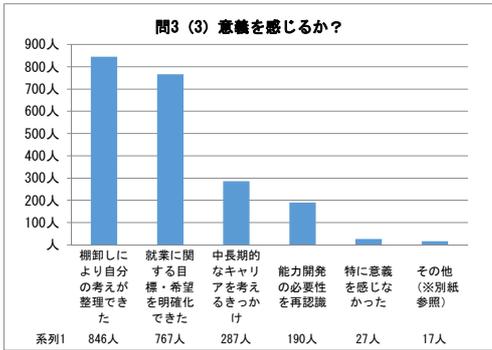
役に立った96%、まあまあ役に立った4%と合わせてほぼ100%の方に肯定的な回答を得ることが出来ました。しかしながら合計で1%未満ですが、あまり役に立たなかった6人、役に立たなかった1名と合計7名の方が否定的な感想でした。下半期は改善が見られましたが、今後の課題と捉え更なる改善の取り組みを実施いたします。  
相談記録から相談前はジョブ・カード作成に関し否定的(わかりにくい、面倒など)な意見をもった方も多いようですが、相談後の感想はからは受けて良かったとの、気持ちの変化も数多く見受けられます。

### 問3(2) キャリアコンサルタントの支援はどのような点で役立ちましたか



「キャリア形成の方向性を整理」との方が一番多く、将来的なキャリアプランなど中長期的な展望に役立ったものと思います。次いで「訓練受講の目的が明確になった」・「訓練受講に対する意欲が向上」との訓練受講に関するものが多く直近の短期的な目標の明確化や意欲の向上が図れたものと考えます。アンケートが単一回答を求めるものであることから、実際には複数回答も多いものと推察されます。

### 問3(3) 職業訓練前に作成することの意義を感じますか



棚卸しにより自分の考えが整理できたと就業に関する目標・希望を明確化できたが、ほぼ同数となりました。様式2と、様式1-1の整理による効果が大きかったものと思われます。この二項目で75%と大半を占めています。一方で残念ながら、意義を感じない方も27名(1.3%)と少ないながらもおられ、上半期からの改善が出来なかった点について反省するとともに今後の改善へ向け努力致します。

### 問3(4) 自由記述(その他要望があれば教えてください)

#### 【相談時間・予約に関する事など】

京都市内以外で相談があれば良い、相談場所が増えれば良い、働きながらでも受けやすい日時を設定して欲しい、夕方にも実施して欲しい、などの相談場所や時間の利便性に関する要望がありました。また、時間を気にせず相談出来れば良い、複数回相談出来れば良かった、定期的な面談があれば良いなど、有用性を踏まえた上でもっと相談したかったとお声もありました。

#### 【WEBサイト、ジョブ・カード作成に関する事】

データをUSBではなく、クラウドで保管投稿できれば良い、Web上でジョブ・カードを作成しPDF化した際に行間が大きく狂い修正を要したなどの改善の要望がありました。

#### 【ジョブ・カードの目的に関する事】

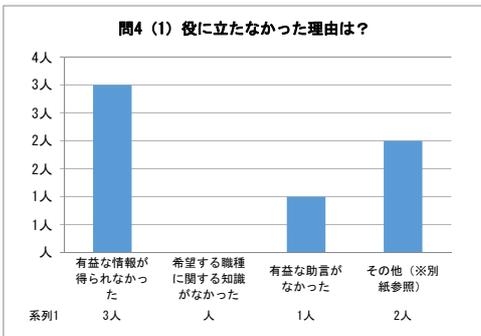
ジョブ・カード作成の意味を事前に説明してもらえると作成時の姿勢が変わった。記入目的がよくわからなかったなど、事前の広報に関する要望も複数ありました。

#### 【その他】

書き方の例を冊子につけてほしい、シートの書き込みスペースが狭いなど様式に関する事、WEB、IoTの専門知識のある人がいると良い、もう少し落ち着いた場所が良いなど、キャリアコンサルタントの知識に関する事、相談場所に関する事などの要望がありました。

上記のような要望があり今後の課題となりましたが、記入の大半が本事業に対する謝辞や感想が圧倒的に多く、大きな問題点はないものと考えます。

### 問4(1) 役に立たなかった理由を教えてください



役に立たなかった理由、その他の方2名の内容(上半期)

- 1.「相談をする前に自分の中である程度目的をはっきりさせていたから。でも話すことで再確認できた事はよかった。」と肯定的な面もあったことを記入いただきました。
- 2.「自分の年齢からいって、いまさら不要である」(50代女性)との理由を記入されており、相談の中でご自身の思いに変化を与えるような働きかけができなかったものと判断します。

下半期の理由は有益な情報が得られなかったが2名、有益な助言がなかったが1名でした。上半期と同様、反省点を真摯に受け止め、今後に活かしたいと思います。

## 総 括

キャリアコンサルティングを受けて頂いた方の感想としては、キャリアコンサルタントと対話することが、「役に立った」、「まあまあ役に立った」とほぼ100%の方に肯定的なご意見を頂くことができました。アンケート結果からも訓練窓口での職員様からの適切なタイミングでの誘導のおかげもあり、相談者のみなさんに本事業を有益にご利用いただけたものと考えております。

相談者の約3割(554名)の方に自由記述にご協力頂き、相談者の生の声をお聞きできたことは大きな成果とらえております。その内容から「やる気が出ました」「救われた気持ちになった」など気持ちの変化や「将来の目標がはっきり見えた」「ビジョンが明確になった」「自分では気づけない自分の価値観や強みを知ることができた」など具体的なメリットもお聞きすることができ、本事業を有効に活用いただけたものと考えます。一方ジョブ・カード作成の意義については特に意義を感じなかったとの否定的な声も少ないながらもあり、今後への課題ととらえ改善に取り組みます。

年間を通し特に下半期の専門実践教育訓練などのジョブ・カード作成必須訓練の増加により、給付金の申請必要書類との側面も多く、肯定的な意見の減少を危惧致しましたが、上半期同様、好評価をいただいたものと考えます。弊社では受託事業者として引き続き、ジョブ・カード作成の意義を再認識し、さらにジョブ・カードの普及と利用促進に努めてまいります。今回の改善点については、真摯に受け止め、より一層効果のあるジョブ・カード作成支援に取り組んでまいります。